



一人でも入れる組合

ユニオン神奈川

No. 116

2019年9月13日

発行：日本労働組合総連合会神奈川県連合会
連合ユニオン神奈川事務局

〒231-0023

横浜市中区山下町24-1 ワークピア4F

TEL:045-211-1133 FAX:045-201-8866

(相談ダイヤル) 0120-154-052



税理士 塚本慎一氏

2019年度「第2回 連合ユニオン神奈川学習会」を7月26日(金)に開催した。32名の組合員が参加。今回のテーマは「給与明細の見方」、講師に税理士の塚本慎一氏を招き、税金の種類や源泉徴収税額の計算方法、労働保険などについて実例をもとに説明がなされた。

また、紙屋顧問からは給与明細をみる際のポイント、残業時間と残業代は正しく計算されているか、社会保険控除はどうなっているかなど実際

第2回学習会開催 テーマ「給与明細の見方」

の給与明細を使い説明があった。

お給料をもらった！だけでなく、この給与明細はどうなっているのか。給与は正しく払われているのか、考えさせられる講義となった。

次回は12月20日(金)に開催する。



学習会の様子

2019ユニオンナイター実施



横浜スタジアム

ユニオン神奈川は、8月3日(土)横浜スタジアムにおいて「2019ユニオンナイター(DENAベイスターズ対巨人戦)」を開催、28名が観戦した。

現在、セリーグ2位の横浜DENAベイスターズ、対戦相手は巨人。連日猛暑日が続く、この日も最高気温35度を超える暑さの中で優勝に向けて闘いが繰り広げられた。5回まで5点リードしていたが、6回3点と8回2点と同点に追いつかれた。9回で勝ち越しの1点が入り6対5で勝った。スタンドは7時を過ぎた頃から浜風が吹きはじめ、昼間の暑さを忘れさせてくれた。

2019ユニオンバーベキューへのお誘い

日時 10月12日(土)10:30開始

場所 横浜海の公園バーベキュー場

○詳細は別途連絡

○申込はユニオンまで

第7回アフリカ開発会議 in横浜 LBIサイドイベントに参加



カッションを開催した。ユニオンからは11名が参加した。

この国際会議は、日本政府が主導し、国連、国連開発計画、アフリカ連合委員会及び世界銀行と共同で開催するアフリカの開発を目的としている。LBIはケニアの首都ナイロビのスラムの女性と子どもエンパワーメントを目指して活動をしている団体で、今回のパ

8月28日～30日にかけて「第7回アフリカ開発会議」が開催された。連合ユニオン神奈川が支援をしているNPO法人LBIは、8月28日18時からパシフィコ横浜において公式サイドイベント「持続可能な発展と健康でアフリカ・コミュニティのレジリエンスを強化する」と題しパネルディス

ネルデイスカッションには日本赤十字社やNPO法人アフリカ児童教育基金の会、ケニアからの留学生そして「連合愛のカッション」を通じて支援している連合本部から山根木組織局長、ケニアLBIからはケニア・チェアのフローレンスさんがパネリストとして登壇し、様々な環境・状況に対しても適応し、生きていくために何ができるか討議がさ

れた。

ケニアLBIのフローレンスさんは、日本では紙屋顧問のご自宅に滞在、日本の生活を体験された。



LBIフローレンスさん

沖縄平和行動参加報告 ミヤマ労組 石島 洋

6月23日～24日にかけて、「平和オキナワ集会とピースフィールドワーク」が開催され、ユニオンからミヤマ労組の石島洋さんが参加した。

「ピースフィールドワークでは、連合沖縄青年委員会の方々の案内にて基地コースを回る。辺野古キャンプシユワブの対岸（瀬嵩の浜）より埋立地を視察。足元にはサンゴや貝殻が転がるともきれいな浜。このきれいな海岸線を

トーカロ裁判 11月25日 証人尋問開始！ 傍聴行動への参加者募集

金属加工メーカー「トーカロ」で20年以上働く有期雇用の女性（ユニオン会員）が正社員との間で賃金等格差は不当だとして2018年2月に東京地裁に訴訟を起こした。労働契約法20条「同一労働同一賃金」を求める裁判への傍聴参加者を募集します。

日時 11月25日(月) 10時から
場所 東京地方裁判所
集合 9時30分 東京地方裁判所
受付辺りに直接お越しください。

埋立て、新基地を建設している。キャンプシユワブ入り口で地元の方々が座り込みを続けている。次に、道の駅“かでな”より嘉手納基地の視察。建屋を上がり展望デッキに出ると、そこには巨大な滑走路が目に見え込んでくる。この日は飛行訓練をしていなかったが、普段はひどい爆音で住民の方を困らせている。普天間基地を嘉数高台の展望台より。こちらも飛行訓練はしていなかった。報道でもあ

るように市街地のど真ん中にある。基地の反対側へ移動するときには基地内を横切ることができない為、大きく迂回しなければならない。住民へ大きな負担だ。辺野古への移設もわからなくもないが、何処へ移設してもその土地への負担は変わらない。どの基地も（日本には）不要である。米軍の不祥事があるたびに立ち入りを制限し、隠蔽している。この不平等で一方的なやり方を何とかしなくてはならない。日米地位協定を見直し、対等な立場で物事を進めてもらいたい」